



# モーツァルト室内管弦楽団 第130回定期演奏会

Mozart-Kammerorchester / 130. Regulärkonzert

〈創立40周年記念シリーズ〉第4回

〈生誕200年記念メンデルスゾーン特集〉その2

**2009年7月5日(日) 午後2時 ■ いずみホール**

Sonntag, 5. Juli, 2009, 14:00Uhr. *Izumi Hall*, Osaka

- 主催：モーツァルト室内管弦楽団
- 協賛：いずみホール〔財団法人 住友生命社会福祉事業団〕
- マネジメント：大阪アーティスト協会 E-mail:artists@gol.com

〒530-0041 大阪市北区天神橋2-5-25-909 Tel 06-6135-0503  
<http://www.oaa1985.com>

モーツァルト室内管弦楽団 第130回定期演奏会

Mozart-Kammerorchester/130. Regulärkonzert

2009年7月5日(日) 2:00pm ● いずみホール

Sonntag, 5. Juli, 2009. 14:00Uhr. ● *Izumi Hall*, Osaka

〈創立40周年記念シリーズ〉第4回  
 〈生誕200年記念メンデルスゾーン特集〉その2

フェリックス・メンデルスゾーン

Felix Mendelssohn Bartholdy (1809 - 1847)

交響曲 第4番 イ長調 Op.90 《イタリア》

Sinfonie Nr.4 A-dur op.90 „Italienische“

- I. Allegro vivace
- II. Andante con moto
- III. Menuetto: Con moto moderato
- IV. Saltarello: Presto

ピアノ協奏曲 第1番 ト短調 Op.25

Konzert Nr.1 g-moll für Klavier und Orchester op.25

ピアノ: 池田洋子  
 Klavier: Yoko Ikeda

- I. Molto Allegro con fuoco
- II. Andante
- III. Presto - Molto Allegro e vivace

\* \* \*

シェイクスピアの《真夏の夜の夢》への音楽 Op.61(ナレーション付き完全全曲版)

Musik zu „Ein Sommernachtstraum“ von Shakespeare op.61 (Komplette Fassung)

序曲(Op.21)/Overture(Op.21)

- |                              |  |
|------------------------------|--|
| 1. スケルツォ/Scherzo             | 2. メロドラマ-妖精たちの行進/Melodrama - Marsch der Elfen                  |
| 3. 合唱付きリート/Lied mit Chor     | 4. メロドラマ/Melodrama   |
| 5. 間奏曲/Intermezzo            | 6. メロドラマ/Melodrama   |
| 7. 夜想曲/Notturmo              | 8. メロドラマ/Melodrama   |
| 9. 結婚行進曲/Hochzeitsmarsch     | 10. メロドラマ: ファンファーレと葬送行進曲/Melodrama: Fanfare und Marcia funebre |
| 11. 道化踊り/Ein Tanz von Rüpeln | 12. メロドラマ/Melodrama  |
- フィナーレ/Finale

ソプラノ: 津山和代/Sopran: Kazuyo Tsuyama

ソプラノ: 野村ゆみ/Sopran: Yumi Nomura

女声合唱: モーツァルト記念合唱団/Frauenchor: Mozart Choral Ensemble

合唱指揮: 益子 務/Chordirigent: Tsutomu Masuko

ナレーター: 平橋佳代子/Sprecherin: Kayoko Hirahashi

ナレーション台本制作: 門 良一/Sprechtext von Ryoichi Kado

管弦楽: モーツァルト室内管弦楽団/Orchester: Mozart-Kammerorchester

コンサートマスター: 釋 伸司/Konzertmeister: Shinji Shaku

指揮: 門 良一/Dirigent: Ryoichi Kado

〈生誕200年記念メンデルスゾーン特集〉その1

序曲《フィンガルの洞窟》Op.26/ヴァイオリン協奏曲 赤短調/Op.64 交響曲 第3番 イ短調《スコットランド》Op.56

ヴァイオリン: 谷本 華子 指揮: 門 良一

2008年4月29日 いずみホール

第3曲 合唱つきりート

*First Fairy sings:*

You spotted snakes with double tongue,  
Thorny hedge-hogs, be not seen;  
Newts and blindworms, do no wrong;  
Come not near our fairy queen.  
Hence away!

*Fairies sing:*

Philomel, with melody, sing in our sweet lullaby;  
Lulla, lulla, lullaby, lulla, lulla, lullaby;  
Never harm nor spell nor charm  
Come our lovely lady nigh;  
So good night, with lullaby.

*Second Fairy sings:*

Weaving spiders come not here;  
Hence, you long-legged spinners, hence;  
Beetles black, approach not near;  
Worm nor snail, do no offence.  
Hence away!

*Fairies sing:*

(repeat)

*First Fairy:*

Hence, away. Now all is well.  
One aloof stand sentinel.

フィナーレ

*Fairies :*

Through the house give glimmering light  
By the dead and drowsy fire;  
Every elf and fairy sprite  
Hop as light as bird from briar,  
And this ditty after me  
Sing and dance it trippingly.

*First Fairy:*

First rehearse your song by rote,  
To each word a warbling note.  
Hand in hand, with fairy grace,  
Will we sing and bless this place

*Fairies:*

(repeat)

Trip away, make no stay;  
Meet him all by break of day.

第1の妖精の歌：

舌の裂けたまだらの蛇よ  
とげとげだらけの針ねずみ  
いもりもとかげも悪さすな  
お后さまがおやすみだ  
あっちへ行け！

妖精たちの合唱：

うぐいすさんはいい声で、一緒にお歌い子守歌  
ねんねん眠れ、ねん眠れ  
たたりには災い、まじないも  
お后さまに近寄るな  
お后さまがおやすみだ

第2の妖精の歌：

巣を張る蜘蛛に用はない  
足長蜘蛛はのいて行け  
黒いぶんぶん、青毛虫  
まいまいつぶりも悪さすな  
あっちへ行け！

妖精たちの合唱：

(繰り返し)

第1の妖精：

行こう、これでもう大丈夫  
一人だけ離れて見張りに立つことにして。

妖精たち：

家じゅうに満たせよ夢の明かり火  
消え行く残り火ほのかに掻き立て  
はずんで踊れよ妖精の子ら  
茨を飛び立つ小鳥のように  
歌うはこの歌わたしに合わせて  
踊るは軽やか野を行く足どり

第1の妖精：

まずはあなたがそらで歌ってくださいな  
ひとふしひとふしさえずるように  
私たちも手に手をとって  
歌いますとも妖精の歌、このお屋敷の祝福の歌

妖精たち：

(繰り返し)

ぐずぐずせずに、それ軽やかに  
夜明けに会うのを楽しみに

登場人物

|                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| シーシアス                | アテネの支配者            |
| ヒポリタ                 | アマゾン国の女王、シーシアスの許婚者 |
| オベロン                 | 妖精の王               |
| ティターニア               | 妖精の女王、オベロンの妻       |
| バック                  | いたずら好きの妖精、オベロンの従者  |
| ライサンダー               | ハーミアを恋する青年         |
| デミートリアス              | ハーミアを恋する青年         |
| ハーミア                 | ライサンダーを恋する娘        |
| ヘレナ                  | デミートリアスを恋する娘       |
| イジーアス                | ハーミアの父             |
| フィロストレート             | シーシアスの宮廷祝宴局長       |
| 豆の花、蜘蛛の糸、羽虫の精、芥子の種   | ティターニアに仕える妖精たち     |
| クインス、ボトム、フルート、スナウトほか | 素人劇団の職人たち          |

あらすじ

舞台はギリシャの都アテネとその郊外の森。アテネの支配者シーシアス(テセウス)はアマゾン国の女王ヒポリタとの結婚を数日後に控えているところへ、臣下のイジーアスが娘ハーミアの結婚問題で訴えてくる。イジーアスは娘をデミートリアスと結婚させたいのだが、ハーミアはライサンダーと相思相愛の仲となっている。これにデミートリアスを恋するヘレナもからんでいる。ライサンダーはハーミアと森へ駆け落ちを決行し、デミートリアスとヘレナもこれを追う。森を支配する妖精の王オベロンは妻である妖精の女王ティターニアと仲たがいをしている。腹いせに従者のバックに命じて惚れぐすりの薬草を採ってこさせ、寝ているティターニアのまぶたに塗る。折からシーシアスの結婚を祝おうと素人芝居の稽古をしに職人たちが森にやってくる。バックはその一人ボトムにロバの頭をかぶせた時ティターニアが目覚め、ロバ頭のボトムに恋してしまう。バックはオベロンの命令でデミートリアスの心をヘレナに向けるべく薬を使うが、まちがえてライサンダーに塗ってしまう。オベロンはバックの失敗をつぐなうためデミートリアスにも薬を塗るので、今度は男二人がヘレナを恋することになる。二人は決闘をしようとするが、バックがあちこち誘導して引き離し疲れさせてしまう。オベロンは妻の姿を哀れんで別の薬で元に戻してやり、ライサンダーにも同じことをする。事情を知ったシーシアスはイジーアスを説得し、自分たちと一緒に二組の若い男女の結婚式も挙げてやる。結婚式の後の余興として、職人たちの芝居が演じられ、続いて道化踊りが踊られる。夜になって妖精たちがシーシアスの館を祝福する場面でこの劇は終わる。

第131回定期演奏会

(〈クライネ・モーツァルト〉第77回例会)

2009年9月19日(土) 午後2時 ●ムラツリサイタルホール新大阪

〈モーツァルトの室内楽〉

オーボエ四重奏曲 ヘ長調 K.370

クラリネット、ヴィオラ、ピアノのための

三重奏曲 変ホ長調 K.498《ケーゲルシュタット・トリオ》他

フルート: 大江浩志      オーボエ: 戸田めぐみ  
 クラリネット: 門小夜子      ヴァイオリン: 林 泉  
 ヴィオラ: 杉山雄一      チェロ: 日野俊介  
 ピアノ: 松村英臣      お 話: 門 良一

第132回定期演奏会

2009年12月13日(日) 午後2時 ●いずみホール

〈楽団創立40周年記念シリーズ〉第6回

<sup>2009年</sup>〈没後200年記念ハイドン・シリーズ〉第10回

ハイドン

オラトリオ《四季》

ソプラノ: 木村能里子      テノール: 西垣俊朗      バス: 田中 勉

合唱: モーツァルト記念合唱団(合唱指揮: 益子務)

指揮: 門 良一

## 交響曲 第4番《イタリア》

メンデルスゾーンの交響曲は全部で5曲あるが、その番号付けは出版順になっている。それを作曲年代順にならべなおすと、第1番、第5番《宗教改革》、第4番《イタリア》、第2番《賛歌》、第3番《スコットランド》となる。第4番《イタリア》は24歳の作品で、その前年までのあしかけ4年におよぶヨーロッパ各地の旅行の中で、イタリアに滞在した折の印象をもとに着想され、実際ローマ滞在中に書き始められている。第1楽章冒頭の快活で流麗な主題は、北ドイツから南国イタリアにやってきた旅行者の受けた強烈な印象を端的に物語っている。古今の交響曲の中でもこんな鮮烈なはじまり方をする曲は他にないだろう。第2楽章は厳肅な宗教的儀式を思わせる行進曲であるが、ベートーヴェンの第7交響曲（同じくイ長調）の第2楽章の影響がうかがえる。第3楽章はベートーヴェンが確立したスケルツォではなく一時代前のメヌエットとなっており、緩やかに流れるような旋律が美しく、中間部のホルンを中心とした山間のこだまのような音型が印象的である。フィナーレではローマの民族舞曲であるサルタレッコが用いられ、終始短調の中に情熱的な激しい曲想が展開される。総じて古典的なたたずまいの中に、メンデルスゾーンらしい清新なロマンティズムが感じられる名曲である。

## ピアノ協奏曲 第1番

《イタリア交響曲》の2年前に作曲されている。メンデルスゾーンのピアノ協奏曲は、他に第2番ニ短調と、若いときの作品で2台のピアノのための協奏曲が2曲と、弦楽合奏の伴奏によるイ短調の曲がある。第1楽章はオーケストラの奏する憂鬱な曲想が盛り上がりピアノが英雄的に登場し、雄渾な中にも優美な音楽を展開していく。切れ目なしに続く第2楽章はヴァイオリンを含むほとんどの楽器が休み、ピアノがチェロとヴィオラを中心としたアンサンブルと奏でるこの上なく美しい室内楽風の楽章である。フィナーレはト長調に転じ、青春の賛歌を歌うように明るく終わる。中間に第1楽章の主題が再現する循環形式を思わせるかたちも前期ロマン派らしい初々しさである。

## シェイクスピアの《真夏の夜の夢》への音楽

メンデルスゾーンは17歳の時、シェイクスピアの原作を読んで感動し、ただちに序曲（作品21）を書き上げた。《真夏の夜の夢》序曲は音楽史上最も美しい序曲の一つに数えられる。それから17年後の1843年（34歳）、プロイセン国王フリードリッヒ・ヴィルヘルム4世より、戯曲《真夏の夜の夢》への付随音楽の作曲を命ぜられ、メンデルスゾーンは新たに12曲とフィナーレとを書いた（作品61）。これらには序曲の楽想が多く取り入れられて統一性が図られている。この中には有名な「結婚行進曲」をはじめ、「スケルツォ」や「夜想曲」などが含まれるほか、第3曲とフィナーレには美しい女声の独唱と合唱があり、序曲を含めた全曲はメンデルスゾーンの代表的傑作とされている。12曲のうちの他の曲はメロドラマ形式で書かれている。メロドラマとはせりふが混在する音楽のことで、一種独特の劇的迫力があり、たとえばモーツァルトも劇音楽の有力な手法として一時注目していたことがあった。《真夏の夜の夢》のメンデルスゾーンの楽譜には、音楽の間にシェイクスピアの原作のドイツ語訳が書き込まれているのである。

## 「完全全曲版」について

一般に《真夏の夜の夢》全曲とあっても、実際には一部がカットされることがほとんどである。たとえば小澤征爾指揮ボストン交響楽団のCDでは、第2、4、8曲の後半、および第6曲全部がカットされている。今回われわれはこのカットを行わず、メンデルスゾーンの書いた音符のすべてを演奏することにした。これはおそらく日本で初めての試みと思われる。また、前述したように楽譜には戯曲のせりふが書き込まれているのだが、これを指定どおりに演ずると戯曲のほとんど全部を上演することになってしまう（指定どおりにした録音もあるが、上演時間は2時間近くに及んでいる）。今回はメロドラマのおもしろさを味わってもらうことが主なので、音楽に直接からむせりふは残し、その他のせりふはドラマの筋書きが最低限たどれる程度に圧縮した（せりふ以外のいわゆるト書きを加えたところもごく一部ある）。それでも他の「全曲版」よりカットの点を除いても多少長くなったかと思う。

今回のナレーション台本の制作にあたっては、大場建治対訳注解研究社シェイクスピア選集、福田恆存訳新潮文庫、小田島雄志訳白水uブックス、三神 勲訳角川文庫を参照した。



## 門 良一 ●指揮

Ryoichi Kado, Dirigent

1939年大阪生まれ。フルートを曾根亮一氏に、指揮法を青山政雄氏に師事。62年京都大学理学部卒業、67年同大学院修了。70年同志とともにモーツァルト室内管弦楽団を創立、常任指揮者となり現在に至る。87年、モーツァルトのピアノ協奏曲全27曲、交響曲全74曲の連続演奏完結に対し、モーツァルト室内管弦楽団とともに第5回藤堂音楽賞を受賞。

現在、NHK大阪文化センター、同神戸文化センター「モーツァルトを聴く」講師。京都産業大学教授。



## 池田洋子 ●ピアノ

Yoko Ikeda, Klavier

東くめ・照子・貞一、井口愛子の各氏に師事。

第7回学生音楽コンクール高校の部全国第1位、文部大臣賞受賞。1954年毎日音楽コンクール入選。東京芸術大学在学中渡仏。パリ・エコール・ノルマル音楽院に入学。ジュル・ジャンティ及びアルフレッド・コルトー氏に師事。日本人として最初にリサンス・ド・コンセル(演奏家資格)を得て卒業。その後マリア・カナルス国際コンクール第2位(1位空席)、ヴィオッティコンクール金賞などに入賞。ピアニストとして華やかなスタートを切る。1990年ザ・シンフォニーホールにてリサイタルを、2000年いずみホールにてリサイタルを、2006年兵庫県立芸術文化センター小ホールにて演奏活動45周年記念リサイタルを開催し、好評を博す。

1999年川西市市民文化賞、2000年兵庫県生活振興功労賞、2005年兵庫県文化賞を受賞。神戸女学院大学音楽学部名誉教授。



## 津山和代 ●ソプラノ

Kazuyo Tsuyama, Sopran

大阪音楽大学卒業、同大学専攻科修了。東京音楽大学研究科オペラコース修了。東京二期会オペラスタジオ修了。畑中良輔、福澤アクリヴィ、大森地塩の各氏に師事。二期会オペラスタジオ修了公演では「こうもり」の阿德レーを演唱。関西二期会では「アルバート・ヘリング」ワーズワースでデビュー後、「フィガロの結婚」伯爵夫人、「ドン・ジョヴァンニ」ドンナ・アンナ、「ラ・ボエーム」ミミ、「椿姫」ヴィオレッタなど数多くのオペラに出演、また第九やオラトリオのソリストを務める他、NHK-FM録音など各種演奏会に出演。チリ国際音楽コンクール第2位、二期会オペラスタジオ優秀賞。東京文化会館推薦オーディション合格。現在、同志社女子大学講師、堺女子短期大学専任講師。関西二期会、京都フランス歌曲協会、堺シティ・オペラ各会員。



## 野村ゆみ ●ソプラノ

Yumi Nomura, Sopran

大阪芸術大学演奏学科を経て武庫川女子大学音楽学部音楽専攻科修了。第3回和歌山音楽コンクール声楽部門第2位。友愛リートコンクール本選入賞。第4回大阪国際音楽コンクール声楽部門第2位。ボレンサ国際音楽アカデミー、ディプロマ修得。アルトからコロラトゥーラソプラノまで歌いこなせる音域の広さを持ち、オペラ、宗教曲、ミュージカルなど各種演奏会においてその力を発揮している。オペラでは「フィガロの結婚」伯爵夫人、「ドン・ジョヴァンニ」ドンナ・エルヴィラ、「こうもり」オルロフスキー公爵、「アマールと夜の訪問者」お母さんなど多数。茨木市音楽芸術協会、イブシロンオペラアカデミー、関西二期会各会員。



## 平橋佳代子 ●ナレーター

Kayoko Hirahashi, Sprecherin

相愛高校音楽科、同大学音楽学部フルート専攻卒業。2002年大学在学中に女性ミュージカル劇団【劇団音芽】を旗揚げ。寺院法要に於いての公演、子どもミュージカル等、様々な分野においてのオリジナル作品による依頼公演では、主演や主要キャラクターを主に担当し、2008年3月「真夏の夜の夢」ではヘレナ役を好演。その他、クラシックコンサート、ヒーローショー等でのMCとしても活動。

現在、劇団音芽主宰、円谷プロダクションCAPS所属。



## モーツァルト室内管弦楽団 Mozart - Kammerorchester

1970年に指揮者 門 良一によって設立され、38年間一貫して30数名のメンバー構成を維持するわが国では数少ない本格的室内オーケストラである。レパートリーはモーツァルト、ハイドンを中心とした古典派からバロック、前期ロマン派に及び、最近ではフランス近代の作品にも手を伸ばしている。モーツァルトに関しては交響曲と協奏曲の全曲を演奏した日本唯一のオーケストラであり、創立当初から新モーツァルト全集に準拠した楽譜を使用していることは注目に

値する。'91年のモーツァルト没後200年に際しては2年にわたり記念シリーズを催し、なかでもモーツァルトの予約演奏会プログラムを完全に再現した日本初の企画は大いに話題を呼んだ。演奏スタイルは中規模編成の特色をフルに生かしたもので、的確なテンポ、明快なリズム、清澄なサウンドは定評のあるところである。関西一円で演奏活動を展開するなかで'90年からは大阪いずみホールを本拠として定期演奏会を、また隔年毎に東京定期演奏会を行い既に16回を数えている。海外では'88年にはドイツ民主共和国文化省の招聘による旧東独国内への演奏旅行を成功させている。内外の著名アーティストと数多く協演しており、なかでもマリア・ジョアオ・ピリス ('85、'87年)、シブリアン・カツァリス ('93、'94年)、ペーター・ダム ('83、'86、'88、'98、'00年)、ウィーンフィル木管アンサンブル ('86年)、ライナー・キュッヒル ('90年)らとの名協演はいまも語り草となっている。'91年に姉妹団体、モーツァルト記念合唱団を誕生させ宗教曲などで活発に協演するほか、'93年には堺シティオペラとの協力による「モーツァルト・オペラシリーズ」を開始し、いずれも好評をもって迎えられている。'06年1月にはモーツァルト生誕250年記念特別企画としてオペラ「イドメネオ」の世界初オリジナル・ノーカット版演奏会形式上演を挙行し絶賛を浴びた。【素晴らしい成果】(毎日新聞)、「この楽団は注目」(朝日新聞)。

【楽団のホームページが出来ました】演奏会予定や過去の演奏記録など徐々に充実させてまいります。

アドレスは <http://www.hi-ho.ne.jp/mozart> です。

### モーツァルト室内管弦楽団／出演メンバー

#### コンサートマスター ● 釋 伸 司

|          |           |               |        |           |           |
|----------|-----------|---------------|--------|-----------|-----------|
| 第1ヴァイオリン | 釋 伸 司     | 原 田 潤 一       | コントラバス | 南 出 信 一   | 小 曲 善 子   |
|          | 中 川 衛 子   | 幣 晴 代         |        | 中 村 公 美   | 藪 内 泉     |
|          | 谷 口 朋 子   | 池 内 美 紀       |        | 北 田 由 美   | 大 西 由 起   |
|          | 北 村 奈 美   | 道 幸 明 美       | フルート   | 大 江 浩 志   | 森 下 智 念   |
|          | 森 住 憲 一   | 佐 份 利 祐 子     | オーボエ   | 本 庄 ち ひ ろ | 稲 堀 愛 子   |
|          | 菊 池 優 理   | 松 井 紀 子       |        | 戸 田 め ぐ み | 福 永 玲     |
|          | 中 野 瑞 己   | 白 木 原 有 子     | クラリネット | 中 江 暁 子   | 岡 村 哲 朗   |
|          | 納 庄 麻 里 子 | 日 野 俊 介       |        | 高 橋 博     | 今 田 孝 一   |
| 第2ヴァイオリン | 本 多 智 子   | David Fischer | ファゴット  | 門 小 夜 子   | テューバ      |
|          | 清 水 め ぐ み | 野 田 祐 子       |        | 佐 伯 利 之   | ティンパニと    |
|          | 川 島 多 美 子 | 角 南 麻 里 子     | ホルン    | 倉 永 晴 美   | 打 楽 器     |
|          |           |               |        | 細 田 昌 宏   | 泉 純 太 郎   |
|          |           |               |        |           | 瀧 住 ま じ か |



## モーツァルト記念合唱団 (合唱指揮●益子 務)

Mozart-Choral Ensemble (Chor-Dirigent / Tsumomu Masuko)

「本番のステージで柔軟に音楽をすることのできるプロフェッショナルなコーラスがほしい」という、モーツァルト室内管弦楽団の要望を受け、特別に編成された合唱団。女声は堺シティオペラの選抜メンバー(若手プロ)を中心に、男声は合唱王国関西の著名合唱団の指揮者、パートリーダー・クラスに参加を要請、1991年7月末に発足し、益子 務氏の指揮のもとに練習を開始した。同年12月モーツァルト室内管弦楽団のモーツァルト没後200年記念第48回定期演奏会で「レクイエム」を協演、それ以後、ミサ、オラトリオ、オペラなどで毎年協演し、中でもモーツァルト「ハ短調大ミサ」、「救われたベトゥーリア」、「イドメネオ」、ハイドン「天地創造」、「四季」、ヘンデル「メサイア」、ベルリオーズ「キリストの幼時」などは絶賛を浴びた。93年には初の単独自主公演としてジャンヌ・ワグナー氏を客演指揮者に迎え「ロジェ・ワグナー・メモリアルコンサート」を開催、大好評を得た。98年、00年の2回、ベルギー・フランドル政府の招きにより文化交流使節としてベルギー演奏旅行を行い、大成功を収めた。00年、創立10周年記念としてCD「ロッシーニ：小荘厳ミサ」をリリース。

### モーツァルト記念合唱団／出演メンバー

#### 合唱指揮 ● 益子 務

|         |       |       |       |
|---------|-------|-------|-------|
| ソプラノ I  | 御池あゆみ | 銭田 美幸 | 友金 郁子 |
| ソプラノ II | 植木 奏子 | 佐野 康子 | 平芳真寿美 |
| アルト I   | 金田智津子 | 中口真由美 | 中根 佳江 |
| アルト II  | 以倉安希子 | 大矢喜久子 | 林 理恵  |
| 練習ピアニスト | 岡田 千絵 | 渡里 拓也 | 渡辺 恭子 |

# 株式会社 井 上 冷 熱

代表取締役 井 上 良 昭

会 長 岡 本 道 雄(京 都 大 学 名 誉 教 授)

理 事 大 西 正 文(大 阪 ガ ス 株 式 会 社 特 別 社 員) 谷 口 安 平(京 都 大 学 名 誉 教 授)

森 井 清 二(関 西 電 力 株 式 会 社 顧 問) 吉 野 泰 生(住 友 生 命 保 険 相 互 会 社 顧 問)

(50音順)

顧 問 橋 下 徹(大 阪 府 知 事：申 請 中) 平 松 邦 夫(大 阪 市 長)

伊 藤 郁 太 郎(大 阪 市 立 東 洋 陶 磁 美 術 館 館 長) 梅 原 猛(国 際 日 本 文 化 研 究 セ ン タ ー 顧 問)

法人会員 (50音順)

|        |                |            |         |
|--------|----------------|------------|---------|
| 荒川化学工業 | サントリーホールディングス  | 高松建設       | 三井住友カード |
| 井上冷熱   | 住友金属工業         | 日本通運京都旅行支店 | ワコー     |
| 大阪ガス   | 住友精密工業         | 濱田プレス工業    | *       |
| 関西電力   | 住友生命保険         | 林製紙        | 日本セルフ   |
| きんでん   | 住友倉庫           | 福山製紙       |         |
| 小林製薬   | ダイキン工業         | 丸山興産       |         |
| 阪野商店   | 大同ケミカルエンジニアリング |            |         |

個人会員 (入会順、敬称略)

|       |       |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 松井繁一  | 安藤邦洋  | 藤原啓助  | 小西信一郎 | 菱谷勝次郎 | 完倉正信  |
| 深田晴世  | 橋本太三雄 | 馬場明和  | 佐野廣子  | 足立宣治  | 野口祐三  |
| 河野幹雄  | 阿部由美子 | 阪野俊一  | 神林恒道  | 東武次郎  | 野口外志子 |
| 河野奈津子 | 中川泰幸  | 森明子   | 岡野昌樹  | 竹林大   | 森本武   |
| 福岡隆子  | 石上豊子  | 宮川泰濟  | 岡野恵津子 | 中谷庄八  | 小山浩   |
| 梅原一哲  | 村本孝夫  | 和田暁夫  | 杉浦和子  | 豊田紘生  | 野原清秀  |
| 石本三千也 | 松本幸道  | 桑名孝子  | 脇田修   | 奥野哲久  | 大西理都子 |
| 田村眞也  | 笹川忠士  | 石光正男  | 多屋貞男  | 平岡龍人  | 堀正二   |
| 竹村治彦  | 緒林桂子  | 松枝正明  | 野村透   | 平岡禮子  | 中野勇   |
| 岸田克己  | 碓井昭彦  | 松枝多加子 | 佐野雅祥  | 大西勇   | 松井基純  |
| 梅村博也  | 碓井みち子 | 光成博次  | 今井安男  | 飛田薫   | 松井香代子 |
| 屋良亘佐治 | 長井重龜  | 高杉方宏  | 玉手隆子  | 飯田祐子  | 山本春子  |
| 國友正和  | 岸田多門  | 川島弘章  | 野崎志朗  | 森野多聞  | 山本道子  |
| 梅田文一  | 能田豊   | 川島啓助  | 橋本靖昭  | 宮井芳子  | 和葉嘉夫  |
| 稲垣千代子 | 森内達治  | 坂本緯子  | 冠大五   | 塩脇昭司  | 大磯隆一  |
| 浮田俊太郎 | 宮井茂治  | 中井武司  | 有賀熙雄  | 塩脇祥子  | 中村多美子 |
| 荻野伊都子 | 祐野尚子  | 中井佐和子 | 佐野哲郎  | 一木晃   | 細井提吉  |
| 桑山弘   | 金定秀光  | 西森文彦  | 小柳陽一  | 岩崎弘一  | 大谷弘枝  |
| 三谷郁子  | 金定嘉也子 | 岸田孝之助 | 服部盛隆  | 河淵清子  | 満谷昭夫  |
| 田中喬   | 中條澄   | 豊田成子  | 田中四郎  | 佐竹時子  | 原喜代志  |
| 天野康英  | 中嶋允子  | 切畑敦詞  | 村西良彦  | 千宗守   | 大原清司  |
| 三浦信一郎 | 福岡昭吉  | 中東富佐子 | 鳥村猛   | 荒木陽子  | 大原典子  |
| 水島敬夫  | 山本次郎  | 金盛琢志  | 河原恭子  | 宮崎悦朗  | 伊藤久栄  |
| 渡辺優子  | 菅正徳   | 三石武男  | 松井とも子 | 栗原順子  | 福谷巖   |
| 平川美津子 | 日高穂   | 内藤芳美  | 得田栄蔵  | 谷口勝昭  | 山村哲夫  |

会 費・個人会員につきましては年会費1口2万円です。

・法人会員につきましては年会費1口10万円です。

会員の特典・年間6回の自主公演にご招待致します。(1口に付き個人各1枚、法人各5枚)

・ご同伴者は10%割引となります。

・関連演奏会のご案内又はご優待を致します。

・定期演奏会プログラムにご芳名を記載させていただきます。

・会報「ディヴェルティメント」をお送り致します。

(有効期間は入会時より1年間です。)

随時ご入会いただけます。